

公益社団法人日本トライアスロン連合 (JTU)

2021 年度 (令和 3 年度) 第 5 回定時理事会 議事録

[1] 開催 : 2022 年 3 月 23 日 (水) 13:00~18:04

- ・方式 : 実会議方式とインターネット・ウェブ会議の併用
- ・運営会場 : Japan Sport Olympic Square 3F 会議室 (新宿区霞ヶ丘町)

[2] 出席 (理事 26 名、監事 2 名) :

岩城光英、仲井公哉、大塚眞一郎、中山正夫、岸田吉史、山倉紀子、鈴木貴里代、森幸、石井なおみ、豊岡正康 (13 : 10 出席)、須山浩光、村上幸生 (13 : 05 出席)、宮城直久、村瀬訓生。

以上、理事 14 名会議室出席。

飯島健二郎 (15 : 20 退出)、和田知子、関根明子 (15 : 37 退席)、山根英紀、富川理充、原澤敦美、上田藍、佐藤圭一、大関辰郎 (14 : 00 退席)、島津寿江、宮本悦子、大野徹雄。

以上、理事 12 名オンライン出席。

萩原政吉 (会議室出席)、秋山智昭 (オンライン出席)。以上、監事 2 名。

・オブザーバー (3 名)

近藤邦宏 (トライアスロンハイパフォーマンスチームアシスタントディレクター)、土屋佳司 (パラトライアスロンハイパフォーマンスチームマネージャー)、高崎聡 (JTU 関東ブロック理事、神奈川県連合 (KnTU) 専務理事)

・事務局出席 (8 名) 坂田洋治、児玉健太、長江千明、島村直子、小池賢、大岩葵、内藤裕也、萩原舞 (議事録作成)

[3] 議事の経過

JTU 定款第 6 章 (理事会) 第 34 条 (決議) により、ウェブ会議進行役の児玉事務局次長が、利益相反による一時離席などについて説明の後、理事出席を一人ずつ確認し、定足数を満たしていることを報告した。

会議の冒頭に弔事対応を行い、この後にトライアスロン界にも深刻な影響を及ぼしているウクライナ情勢について、岩城会長が理事各位に意見を求めた。その結果、JTU としてウクライナのトライアスロン選手らを支援する方針を定め、詳細については会長主導で行い、近日中に発表することとした。

定款 33 条（議長）により、岩城会長が議長として開催宣言を兼ねた挨拶を行い、同第 23 条（理事の職務及び権限）による会長及び業務執行理事の職務執行状況が報告された。その後、定款第 35 条（議事録）により、岩城会長、荻原監事を議事録署名人、大塚専務理事、豊岡理事を議事録確認の署名人とし、議事録作成者に事務方を指名し、議案の審議に入った。

[4] 決議事項

第 1 号議案) 2021 年度（令和 3 年度）第 4 回 臨時理事会 議事録

2021 年度（令和 3 年度）臨時理事会（2/2）の議事録案について、メール回覧済であるとの児玉事務局次長の報告があり、質疑などないことが確認された後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

・承認事項) 2021 年度（令和 3 年度）臨時理事会（2/2）議事録案

第 2 号議案) 令和 4 年度 事業計画・収支予算案

1) 令和 4 年度事業計画（案）

標題について坂田マーケティング・事業局長より説明があり、質疑などないことが確認された後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

・承認事項) 令和 4 年度事業計画

2) 令和 4 年度予算（案）

標題について大塚専務理事より説明があり、質疑などないことが確認された後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

・承認事項) 令和 4 年度収支予算

・補足事項) 予算 5 年計画（案）の説明

第 3 号議案) 定款の変更案（第 18 条 決議と第 21 条 役員の設置）

標題について児玉事務局次長より説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、第 3 号議案－1 及び第 3 号議案－2 について異議なく承認可決した。ただし、第 3 号議案－2 に関わる監事の定数については、次回理事会で審議することとなった。

・承認事項 1) 定款第 18 条（決議）の改訂

・説明骨子) 社員総会の決議に関して、利害関係者を決議から除くため文言の一部変更。

- ・承認事項 2) 定款第 21 条（役員の設置）理事定数の変更
- ・説明骨子) 2021 年度第 4 回定時理事会（2021 年 12 月開催）決議事項に従い、理事の定数を現状の 30 名から 35 名に定数を変更する。

第 4 号議案) 組織体制

1) 2022 年度 役員人事選考委員会委員の選任

標題について大塚専務理事より説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 2022 年度 役員候補選考委員会委員

関根範之（JTU 社員／埼玉）、大久保孝志（JTU 顧問／横浜大会事務総長）、加藤友里恵（オリンピック／千葉）、田山寛豪（オリンピック／茨城）、湯尻淳也（弁護士＊外部有識者）、坂田洋治（JTU マーケティング事業局長）。

・説明骨子) 役員選考規程に則って選任された 2021 年役員候補者選考委員 6 名を 2022 年も継続して同委員として選任する。

2) 2022 年度 EDI 委員会の構成案

標題について児玉事務局次長より説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 和田知子理事を EDI 委員会委員長をとし、次の 7 名を委員とする。

石井なおみ（千葉）、富川理充（東京）、元嶋直子（神奈川）、小池賢（千葉）、円尾敦子（兵庫）、三島雅世（大阪）、下方純代（神奈川）。

- ・補足事項) 2022 年度 事務局構成案および 2022 年度 社員交代申請時期の説明

3) 2022 年度 事務局構成案および 2022 年度 社員交代申請時期の説明

標題について児玉事務局次長より補足説明があった。

- ・報告事項) 事務局構成案および 2022 年度 社員交代申請時期

第 5 号議案)

1) JOC 国際人養成アカデミー推薦案

標題について児玉事務局次長より説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項) JOC 国際人養成アカデミー 2022 年度受講者の推薦

後藤啓介 (JTU 事業企画委員会／東京)、森谷直樹 (JTU 情報戦略医科学委員長／東京)、門屋良 (愛媛県トライアスロン協会／東京 2020 オリンピック NTO)、秦絵莉香 (JTU マーケティング事業局推薦)

2) アジアトライアスロン暫定事務局受託案

標題について大塚専務理事より説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

・承認事項) アジアトライアスロンのパク会長の辞任に際し、アジアトライアスロン事務総長である大塚専務理事が所属する JTU が、韓国トライアスロン連盟に代わり 2022 年 6 月アジアトライアスロン総会までの暫定事務局となり、また同総会にて 2023 年の次期会長選挙までの事務局運営の継続依頼があった場合にこれを受託する。

第 6 号議案) 強化関連

1) トライアスロンハイパフォーマンスチーム 強化戦略プラン関連

標題について山根理事及び児玉事務局次長より説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、新型コロナウイルスやウクライナ等の社会情勢の影響から、選手に不利益が生じないよう関連基準において、想定対応などの注釈等を示すことを条件に、承認可決した。(棄権 2 名)

・承認事項 1) 強化戦略プランの承認

説明骨子) JSC 協働チームと連携し、パリ 2024 年までの 4 年プラン・ロサンゼルス 2028 年まで 8 年プランの各マイルストーン等を盛り込み更新した。

・承認事項 2) JTU ナショナルチームプログラムの更新

説明骨子) オリンピッククオリフィケーションランキング (OQR) 開始に伴う評価対象期間の変更等。

・承認事項 3) 2022 年度上期 JTU ハイパフォーマンスチーム・リージョナル育成事業

・承認事項 4) 2022 年度 JOC オリンピック強化指定選手 (推薦基準)

説明骨子) 最新のワールドトライアスロンランキング (WTR) に基づき四半期毎に推薦を行う。

2) 2022 年度 JOC コーチ設置事業

標題について山根理事より説明があり、利害関係の該当者となる山倉常務理事、山根理

事、近藤アシスタントディレクターが退出の後、質疑などないことが確認された後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。(棄権2名)

・承認事項) JOC コーチ設置事業推薦候補者一覧) の承認

JOC ハイパフォーマンスディレクター: 山根英紀 (理事・HPT ディレクター)、JOC ナショナルチームコーチ: 山倉紀子 (常務理事・HPT アシスタントディレクター)、近藤邦宏 (HPT アシスタントディレクター)、福井英郎 (海外拠点スタッフ)、JOC ナショナルチームコーチ B: 中山俊行 (次世代戦略スタッフ)、武友綾巳 (次世代育成スタッフ)、JOC 情報・科学スタッフ A: 生田目颯 (情報科学スタッフ)、JOC 競技用具スタッフ: 相田博幸 (競技用具スタッフ)、JOC ナショナルチームコーチ B: 川合貴紀 (担当コーチ)、飯島健二郎 (担当コーチ)、村上晃史 (担当コーチ)

3) 第11回ワールドゲームズ(2022/バーミングハム) 日本代表選手案

標題について山根理事より説明があり、利益関係の該当者となる上田理事が退出の後、質疑などないことが確認された後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

・承認事項) 第11回ワールドゲームズ(2022/バーミングハム) 日本代表選手案
・女子: 上田藍(千葉)、男子: 田中文也(神奈川)

4) 2022年エリート関連大会選考・出場基準関連

標題について児玉事務局次長より説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

・承認事項1) 2022年ワールドトライアスロン/アジアトライアスロン・デュアスロン選手権(選考基準)

・承認事項2) 2022年日本選手権・日本U23/U19選手権(出場基準)

・説明骨子) 日本選手権の出場基準の主要変更箇所: JIUブロック代表の出場枠配分の更新。認定記録会男子ランの認定タイム更新に伴う標準記録タイムの見直し。指定大会の追加及び大会名称の変更。

5) 2022年度各種事業の推薦関連

標題について児玉事務局次長より説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

・承認事項1) 2022年JOCネクストシンボルアスリートの推薦承認

推薦候補 2 名：安西琴美（神奈川）、大室杏夢（東京）

- ・承認事項 2) 2022 年 JOC ナショナルコーチアカデミーの推薦承認

推薦候補 3 名：近藤邦宏（JTU ハイパフォーマンスチーム アシスタントディレクター／千葉）、

武友綾巳（JTU ハイパフォーマンスチーム 次世代育成スタッフ／福岡）、平松幸紘（JTU コーチ委員会委員／愛媛）

- ・承認事項 3) 2022 年 JOC 指導者海外研修の推薦承認

推薦候補：忽那静香（東京）

- ・承認事項 4) 2022 年 JSP0 アスレチックトレーナーの推薦承認

推薦候補 2 名：藤田恵（東京）、村山智美（山梨）

6) パリ 2024 選考基準策定委員会案

標題について児玉事務局次長より説明があり、利害関係の該当者となる大塚専務理事、原澤敦美理事、石井なおみ理事、富川理充理事が退出の後、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項) JTU 日本代表選考規程策定委員会の承認

委員 7 名：上治丈太郎（外部有識者）東京 2020 大会組織委員会 参与、湯尻淳也（外部有識者）弁護士、原澤敦美（理事）弁護士、関根明子（理事）オリンピック、石井なおみ（理事）女子委員長、富川理充（理事）パラトライアスロン・ハイパフォーマンスディレクター、大塚眞一郎（専務理事/事務総長）

・説明骨子) 策定手順は JTU トライアスロン・ハイパフォーマンスチームが中心となり原案を作成する。その後、JTU 日本代表選考規程策定委員会が評価し、JTU 理事会が承認する。これらのプロセスは、随時、関係部署に回覧し意見を求めるものとする。パラトライアスロン関連については、再度委員会の設置を行う。

7) 新規指導者資格の設置案（コーチ 3）

標題について児玉事務局次長より説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

承認事項) 日本スポーツ協会（JSP0）トライアスロンコーチ 3 資格の新設の承認

説明骨子) 日本オリンピック委員会（JOC）ナショナルコーチアカデミー受講要件として JSP0 コーチ 3 以上の資格保持者が追加となり、NF として新設が必須となったことを受け、2022 年度より現状のコーチ 1 の上級資格としてコーチ 3 を設置し、階層を増や

すことで国際競技力向上に向けた指導者の育成を推進するため、新設を行う。

8) パラトライアスロンハイパフォーマンスチーム

標題について富川理事より説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

承認事項 1) 強化戦略プランの更新

承認事項 2) JPC コーチ設置事業及び関連事業（候補者一覧）の承認

JPC ハイパフォーマンスディレクター：富川理充（理事・HPT ディレクター）、JPC ナショナルチームコーチ A：菊池日出子（理事・ナショナルコーチ）、JPC ナショナルチームコーチ B：西麻衣子（アシスタントコーチ）、蔵本葵（アシスタントコーチ）、JPC ナショナルパーソナルコーチ B：山下陽裕（アシスタントコーチ）、JPC 情報・科学スタッフ B：

稲井勇仁（スポーツ科学情報スタッフ）、JPC 競技用具担当 B：塩野谷聡（JTU トータルサポート委員会委員）、JSC 次世代ターゲット育成支援事業コーディネーター：土屋佳司（HPT マネージャー）

第 7 号議案) マーケティング・事業関連

標題について坂田マーケティング・事業局長より説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

承認事項 1) 2022 年度日本エイジグループ選手権 出場基準

承認事項 2) エイジグループ選手の海外派遣の考え方

第 8 号議案) 技術審判・指導者養成委員会関連

標題について事務方より説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

・承認事項 1) 2021 年度 JTU 第 1 種公認審判資格<新規・更新>

・承認事項 2) 2021 年度 JTU 指導者養成講習会・合格者

・補足説明) 本件の JTU ウェブサイト掲載にあたり、氏名のみでも個人情報保護法に抵触することから、該当者の承諾を得ることとする。

第 9 号議案) 定時社員総会の日程

標題について児玉事務局次長より説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、

ろ、会場の都合で社員総会の日程は前後する可能性があることが補足され、異議なく承認可決した。

・承認事項) 2022 年度定時社員総会の日程

・定時社員総会：2022 年 6 月 21 日 (火)

・補足説明) 2022 年度理事会開催日程

臨時理事会 (第 1 回) 4 月 19 日 (火) 18 時～19 時

定時理事会 (第 1 回) 6 月 7 日 (火)

臨時理事会 (第 2 回) 6 月 7 日 (火)

定時理事会 (第 2 回) 9 月 7 日 (水)

定時理事会 (第 3 回) 12 月 9 日 (金)

定時理事会 (第 4 回) 2023 年 3 月 24 日 (金)

審議進行に関わる確認)

議長に代わり児玉事務局次長が、審議に関わるインターネット接続等において聞き取れなかったことや発言できなかったことなどがなかったかを確認した。格別な発言がなく、インターネットによる議事進行は滞りなく行われたことを確認し報告した。

[5]報告事項

1) ガバナンスコード準拠状況・地域法人化

2) 中長期経営計画案進捗状況・役員アンケート他

今後のプロセスとして、各ブロック理事における課題・取組みの宣言をしていただくこと、理事ひとりひとりからヒアリングをすること等が説明された。

3) 通報相談事象

通報内容：加盟団体から審判日当が支払われていない

加盟団体に確認し、支払方法の連絡ができておらずコミュニケーション不足であったこと、現在は支払い済みであること等が説明された。

4) 2021 年度ブロック理事会開催報告

2021 年度ブロック協議会開催実績が提示された。

5) セミナー・フォーラム委員会からの報告

2021 年度セミナー・フォーラム開催実績、今後の予定が提示された。

6) 2021・2022 会員登録状況

大塚専務理事より概況を報告、2022 年度会員増員の促進を依頼

7) 2022 年度 JTU 国民体育大会におけるトップアスリートの予選会免除適用の方向
前々回理事会での承認内容に従い、2022 年 4 月 1 日時点での JTU トライアスロン・ハイパフォーマンスチーム ナショナルチーム対象選手を免除する方針であることが説明された。

8) 高校生普及委員会（佐賀国スポリハーサル大会）

佐賀国民スポーツ大会リハーサル大会の準備状況等が説明された。

9) その他ブロック報告等

<中国ブロック大野理事>

数日前に島根県協会のアカウントにて「件名●●大会について」という圧縮ファイル
つきのなりすましメールが関係者宛に届くという事象があった。具体的な大会名、実在
の個人名で届いていることから、注意を促したい。

児玉次長補足) マルウェアの Emotet (エモテット) による不正メールの事象。JTU 事務局からあらためて注意喚起を行う。

<沖縄ブロック宮城理事> 沖縄の海を会場としたイベント一部で秩序が機能してい
ない事例があり、沖縄県がイベント主催者の身分証明等を求める状況等、イベント開催が
厳しい状況となっている。

<石井理事（園川理事に代わり）>

関東ブロック選手権の日程、館山わかしお大会等の発表。

千葉県トライアスロン連合が 2022 年度内の法人化を検討。

<坂田マーケティング・事業局長>

ウィンタートライアスロンの実施候補地となる地域があればぜひ推薦いただきたい。

<鈴木事業企画委員長>

各ブロックから事業企画委員会への委員の推薦について、近日推薦依頼を行う予定。

[6] 次回理事会：2022 年 4 月 19 日（火）2022 年度臨時理事会開催予定

[7] 閉会宣言

仲井筆頭副会長のあいさつの後、本日の理事会すべてが終了したことが告げられ、18時04分に閉会した。

議事録署名と確認：

(岩城光英・議長・会長・代表理事) (印) 2022年 月 日

(荻原政吉・監事) (印) 2022年 月 日

(大塚眞一郎・専務理事) (印) 2022年 月 日

(豊岡正康・理事) (印) 2022年 月 日